

# 雲南省蘭坪県龍潭村普米族の掛け合い歌 「西番調」

—普米族の白語による歌謡—

The Duet “Xifan Melody” by the Pumi People in Longtan Village of Lanping County in Yunnan Province of China : The Songs in the Bai Language of the Pumi People

大東文化大学非常勤講師

飯島 奨 IIJIMA, Susumu

## 1. はじめに

中国雲南省に居住する少数民族の普米族は、風俗・信仰・言語などにより主に麗江より北部の永寧地域に居住するグループと麗江の南西部の蘭坪地域に居住するグループの大きく二つに分けられる。そして後者の蘭坪普米族は使用する言語によってさらに二つに分けることができ、中部から北部の鑑古箐、河西地域の、四川省と雲南省との境に近い永寧普米族と近い普米語を話すグループと、蘭坪の県都付近の金頂から中部の龍潭一帯に居住する白語を話すグループである。

「西番調」とは蘭坪県内最大の少数民族である白族の言語、白語を用いて普米族のメロディーとリズムで歌われる龍潭普米族の掛け合い歌である。龍潭の掛け合い歌は2015年3月に筆者が初めて龍潭村を訪ねた際に出会った。蘭坪を初めて訪問した際、普米族の掛け合い歌を調査したいという旨を伝えたところ、蘭坪文化局の手配で実現した。のちにその掛け合い歌が西番調と呼ばれるものであることを知る。そして大理地域の白族である段傑文氏の協力によって、自民族の言語を基本的には文字化する術をもたない普米族の歌謡を国際音声記号（以下「IPA」と記述）によって初めて表記することが可能となった。西番調は白語

を用いるため、白族の段氏が資料化することが可能となったのである。

本稿は段傑文版西番調歌詞資料作成の過程で浮かび上がった、龍潭普米族の掛け合い歌の様式や白語で歌われることの意義について考察するものである。ちなみに、龍潭普米族の掛け合い歌については、IPAを用いず一部資料化して、歌謡の内容について報告した拙稿<sup>1)</sup>がある。

西番調についてはまだわからないことが多く、歴史的な背景やその歌謡が龍潭以外のどの地域でどれくらい享受されているのかといったことは未詳である。例えば普米族である現地在住の民俗・文学研究者や蘭坪在住の普米族で歌舞団に所属する若者らはそれが西番調だということはわかるが、実際歌う龍潭の年配の歌い手らはそれを西番調と呼ばれていることに自覚がない。また、蘭坪の外部の人間で、白族の、例えば本稿の歌詞資料作成を担った段傑文氏や、或いは同じく白族で白族歌謡を研究している研究者が龍潭の西番調を聞けばそれが白語で歌われていることが容易にわかる。

とにかく、西番調については資料が乏しく、筆者もその資料化を始めてまだ日が浅い。故に西番調とは何かという問いは稿を改めて論じたいと思う。

## 2. 西番とは何か

「西番」とは<sup>2)</sup>主に現在の四川省西部一帯に居住する藏族（以下チベット族と記述）諸語集団のかつての呼称で、その歴史は千年以上を経るといふ。7世紀頃から吐蕃に支配され、チベット仏教を受け入れて「チベット化」した。しかし明清時代には土司制のもとで中国王朝の間接支配を受け、18世紀には漢族の商人の往来も増え、漢族との接触も恒常化した。19世紀末からは彝族がこの地に進出し、武力によって先住の西番や漢族を脅かした。中華人民共和国成立後には、「西番」集団の多くが民族識別によって西番の名称をチベット族に改めた。具体的には1960年代に第1回目の民族識別があり、その際「西番」はチベット族、西番族、普米族の三つに分けられ、のち1980年代の第2回目の識別で西番族はチベット族に統合され、西番という名称は公式の民族名称から抹消された。

本稿で扱うIPA資料完成後に白族である段傑文氏に質問したのだが、西番という用語については、段氏の郷里は西山地域だが、そこには普米族はいないため、郷里の一部の人たちは「西番」ということばを知らないだろうということであった。また若者の多くは「普米」という語を用いるという。一方、剣川と蘭坪一帯の白族は普米族との接触が比較的頻繁なため、その地域の多くの白族は皆西番という語を知っている、とのことであった。

また、段氏が今回の資料を作るにあたり「西番」という語を用いた理由は、資料の作成の過程で生じた疑問点を確認するため蘭坪へ赴いた際、現地の普米族らは彼らの歌謡を「西番調」と呼んでいたから、と教えてくれた。

故に「西番調」という用語は、大きな意味では蘭坪普米族の歌う歌の全てを指しかねないが、本稿では狭い意味に絞って「西番調」を用いることにして、「はじめに」で先述したが「西番調」とは「白語を用いて普米族のメロディーとリズムで歌われる、龍潭普米族の掛け合い歌」とした。

## 3. 龍潭普米族の掛け合い歌の概要

彼らの掛け合い歌については既に拙稿<sup>3)</sup>で述べており、詳しくはそちらを参照されたいので、ここでは簡単に述べるにとどめたい。例えば、彼らの居住地域に隣接する多数派民族である白族は、その歌文化において豊かな歌掛け文化をもつということは周知の通りである。白族の歌掛けの大きな特徴は、その目的が恋愛や結婚相手を探すという点にあり、従って、白族の歌掛けは、一年に数回、歌垣という場で行われ、不特定多数の老若男女が参加し、それ故歌掛けの際に男女の駆け引きや闘いといった性格を帯びた真剣なものになることが多い。

一方、龍潭普米族の歌掛けは、その特徴として、結婚式で行われ、また、歌える人は現在は高齢の人たちに限られており、また様式の特徴として、歌を掛け合う双方ともに、男女問わず嫁の立場に立って一人称で歌うという特徴がある。歌詞の内容も嫁ぎ先での辛さや、嫁自身の孤独感を歌いあげるものが多く、これを結婚式で歌ってよいのか、と思わず首をかしげたくなるものが多い。歌い手たちへの聞き書きでは、彼らは掛け合い歌の一首一首を「可憐調」とか「苦情調」とか名付けている。ただ、現在ではこの歌掛けは行われておらず、老人たちがかろうじてそのワザをおぼえている、という状況である。

## 4. 歌の様式

まずは掛け合い冒頭の第1・2首を【用例A】として以下に取り上げ、歌の様式に注目してみよう。

段傑文版西番調歌詞資料

録画・録音：飯島奨

IPA・漢語直訳・漢語意識作成：段傑文（大理白族自治州白劇団職員、白語翻訳作成者）

漢語から日本語へ翻訳：程詩緯（大東文化大学大学院法学研究科前期課程）、飯島奨

日本語最終調整：飯島奨

採集日時：2015年3月26日

採集場所：雲南省蘭坪白族普米族自治県龍潭村、

熊四金の自宅にて

歌い手：

- ・熊文寛：男，蘭坪普米族，干支は亥，1947 年生まれ，龍潭村栗樹組に住む。
- ・熊四金：男，蘭坪普米族，干支は未，1954 年生まれ，龍潭村に住む。既婚者。
- ・熊国慶：女，蘭坪普米族，干支は戌，1958 年生まれ，龍潭村出身。和徳華の妻。
- ・熊玉谷：女，蘭坪普米族，干支は巳，1965 年生まれ，既婚者。龍潭村出身だが現在は別の村に住む。

【用例 A】

		1) 男側
1	IPA	ni <sup>55</sup> kə <sup>21</sup> le <sup>44</sup>
	汉语直译	可 怜 了
	汉语意译	可怜啊
	日本語訳	（自分が）可哀想。
2	IPA	ti <sup>33</sup> mo <sup>33</sup> so <sup>~33</sup> ja <sup>~55</sup> nə <sup>31</sup> kuɛ <sup>31</sup> tsi <sup>~33</sup>
	汉语直译	父 母 养育 我们 这 姐妹 兄弟
	汉语意译	父母含辛茹苦将我们养育
	日本語訳	父母は苦勞に耐え忍んで，私たちを育ててきた。
3	IPA	ti <sup>33</sup> mo <sup>33</sup> so <sup>~33</sup> ja <sup>~55</sup> nə <sup>31</sup> kə <sup>55</sup> tha <sup>~55</sup>
	汉语直译	父 母 养育 我们 这 时 光
	汉语意译	父母养育我们这么多年
	日本語訳	父母はこんなに長い時間を掛けて，私たちを育ててきた。
4	IPA	kə <sup>55</sup> ka <sup>21</sup> so <sup>55</sup> sui <sup>44</sup> je <sup>33</sup>
	汉语直译	寒 冷 冰 雪 下
	汉语意译	多么艰辛啊
	日本語訳	こんなに辛い。（とても辛い。）
5	IPA	ji <sup>42</sup> tə <sup>44</sup> ɣa <sup>31</sup> ta <sup>42</sup> mo <sup>55</sup> ŋa <sup>55</sup> u <sup>55</sup> （父母用嘴把嚼成糊状喂子女）
	汉语直译	穿衣 得 不 行 磨 我们 糊
	汉语意译	没有衣服穿也喂我们吃米糊
	日本語訳	着る服はない。そして米の柔らかい粥を私たちに食べさせる。
6	IPA	pe <sup>44</sup> tə <sup>44</sup> ɣa <sup>31</sup> ta <sup>42</sup> ti <sup>33</sup> khe <sup>55</sup> sə <sup>33</sup>
	汉语直译	走 得 不 行 父 牵 手

	汉语意译	不会走路（的时候）父亲牵着我们的手
	日本語訳	歩けない。（その時に）父は私たちの手をつないだ。
7	IPA	tɕi <sup>42</sup> mi <sup>42</sup> ui <sup>55</sup> li <sup>55</sup> tɕi <sup>42</sup> mi <sup>42</sup> to <sup>31</sup>
	汉语直译	赶 紧 喂 和 赶 紧 大
	汉语意译	快快喂养快长大
	日本語訳	早く育てて，早く大人になる。
8	IPA	ja <sup>55</sup> si <sup>55</sup> pa <sup>55</sup> ku <sup>55</sup> lu <sup>55</sup>
	汉语直译	我们 还 他们的 恩 情
	汉语意译	报答他们的养育之恩
	日本語訳	彼ら（父母）の私たちを育てた恩を返す。

		2) 女側
1	IPA	ni <sup>55</sup> kə <sup>21</sup> le <sup>44</sup>
	汉语直译	可 怜 了
	汉语意译	可怜啊
	日本語訳	（自分が）可哀想。
2	IPA	ni <sup>55</sup> kə <sup>21</sup> nə <sup>31</sup> tshɜ <sup>~55</sup> tɕia <sup>~31</sup> tshv <sup>31</sup> mu <sup>33</sup>
	汉语直译	可 怜 这 句 讲 处 无
	汉语意译	可怜之情没无处说
	日本語訳	（自分が）可哀想と気持ちを伝える相手がいない。
3	IPA	ni <sup>55</sup> kə <sup>21</sup> nə <sup>31</sup> tshɜ <sup>~55</sup> tɕia <sup>~31</sup> tɕhi <sup>44</sup> tsi <sup>55</sup>
	汉语直译	可 怜 这 句 讲 出来 则
	汉语意译	可怜之情说出来
	日本語訳	（自分が）可哀想という気持ちを言い出し（たら）
4	IPA	tɕhi <sup>55</sup> ji <sup>~21</sup> so <sup>31</sup> ja <sup>~55</sup> no <sup>33</sup>
	汉语直译	亲 人 笑话 我们 *
	汉语意译	亲人笑话咱
	日本語訳	親族に私たちは嘲笑われる。
5	IPA	nə <sup>31</sup> xo <sup>31</sup> pi <sup>~55</sup> no <sup>33</sup> ka <sup>44</sup> tshe <sup>55</sup> tshe <sup>55</sup>
	汉语直译	这 家 边 上 把 栖 栖
	汉语意译	来到这家坐一坐
	日本語訳	この部屋に来て，座って休息する。

6	IPA	ta <sup>55</sup> xo <sup>31</sup> pi <sup>55</sup> no <sup>33</sup> ka <sup>44</sup> tchia <sup>44</sup> tchia <sup>44</sup>
	汉语直译	那 家 边 上 把 闪 闪
	汉语意译	去到那家闲一闲
	日本語訳	あの部屋に行って、寛ぐ(休憩する)。
7	IPA	mɛ <sup>55</sup> ji <sup>44</sup> na <sup>55</sup> li <sup>55</sup> ni <sup>55</sup> kə <sup>21</sup> tsi <sup>55</sup>
	汉语直译	明 日 你们 也 可 怜 则
	汉语意译	如果有天你们也可怜
	日本語訳	もしあなたたちも可哀想になる日が来たら、
8	IPA	tshu <sup>33</sup> xa <sup>55</sup> ŋa <sup>55</sup> si <sup>33</sup> si <sup>33</sup>
	汉语直译	就 看 我们 样 样
	汉语意译	就像我们一样
	日本語訳	私たちと同じようになる。
	語釈	4. 「no <sup>33</sup> 」はここでは補語で、意味はもたない(no <sup>33</sup> 在此为宾语补语, 无实意)

第1首は男側、第2首は女側が歌う。西番調は一首は8句構成で、この2首は音数律が前半3775、後半7775のリズムであるが、他の首を見るとわかるが基本は7775・7775の音数律である。これは大理地域の白族の歌に特徴的な「山花体」と呼ばれる音数律であり、その歴史は明代碑文などにも確認できる。

ちなみに歌詞資料作成者の段氏が述べるには、西番調で使われている白語は剣川方言である。筆者が補足すると、剣川とは蘭坪と隣接する白族居住地域で、筆者は麗江から蘭坪へ向かう際定期便のバスを利用するが、その道路は剣川を経由するルートである。

## 5. 歌詞に見られる言語のばらつき

龍潭普米族の西番調は、基本は白語で歌われるわけだが、段氏の歌詞資料によって白語歌詞内に漢語が混じっていることがわかってきた。段氏の述べるには、白族歌謡には漢語句が恒常的にあらわれるといい、本資料で取り上げる漢語というのは、蘭坪普米族の話す白語なまりの漢語であるという。ちなみに、蘭坪普米族の話す白語なまりの漢語と白族の話す白語なまりの漢語との差異は非

常に見分けにくくその差はわずかである<sup>4)</sup>という。

### 【用例 B】漢語句をもつ首

		4) 女側
1	IPA	sa <sup>55</sup> ta <sup>55</sup> zə <sup>42</sup> lɛ <sup>42</sup> kho <sup>44</sup> ji <sup>55</sup> tɕi <sup>55</sup>
	汉语直译	上 大 人 来 经验 也 多
	汉语意译	长辈人的经验丰富
	日本語訳	年上の人の経験は豊富だ。
2	IPA	lo <sup>31</sup> zə <sup>42</sup> suo <sup>35</sup> xua <sup>55</sup> tsi <sup>55</sup> jou <sup>31</sup> li <sup>31</sup> (汉语句)
	汉语直译	老 人 说 话 自 有 理
	汉语意译	老人说话自有理
	日本語訳	老人の話は自然と理がある。
3	IPA	tso <sup>42</sup> khui <sup>55</sup> pə <sup>55</sup> ku <sup>21</sup> ɕui <sup>33</sup> jɛ <sup>33</sup> ɕio <sup>55</sup>
	汉语直译	石 头 它 的 硬 水 下 融
	汉语意译	石头虽坚被水融
	日本語訳	石は固いけれど、水にけずられる。
4	IPA	so <sup>55</sup> ua <sup>42</sup> kə <sup>33</sup> sa <sup>55</sup> tchi <sup>31</sup> (汉语句)
	汉语直译	树 王 根 上 起
	汉语意译	大树参天自根起
	日本語訳	大樹が天に接するくらい高くなっているのも、(元々は)根から成長してきたものだ。
5	IPA	ko <sup>21</sup> ji <sup>21</sup> no <sup>33</sup> li <sup>55</sup> mu <sup>33</sup> tso <sup>55</sup> ɕi <sup>55</sup>
	汉语直译	富 人 上 也 别 羨 慕
	汉语意译	富贵人家别羡慕
	日本語訳	金持ちのことを羨まないで。
6	IPA	na <sup>21</sup> ji <sup>21</sup> no <sup>33</sup> li <sup>55</sup> mu <sup>33</sup> xa <sup>55</sup> se <sup>31</sup>
	汉语直译	穷 人 上 也 别 看 小
	汉语意译	贫穷之人别小瞧
	日本語訳	貧乏な人を見下さないで。
7	IPA	ko <sup>21</sup> ji <sup>21</sup> pə <sup>55</sup> tsə <sup>33</sup> na <sup>21</sup> mə <sup>55</sup> ɣə <sup>35</sup>
	汉语直译	富 人 他们 从 贫穷 处 来
	汉语意译	富人也曾贫穷过
	日本語訳	金持ちの人も昔は貧乏だった。
8	IPA	li <sup>31</sup> tsɛ <sup>55</sup> tchi <sup>42</sup> tso <sup>33</sup> juɛ <sup>42</sup> (汉语句)
	汉语直译	理 在 其 中 圆

	汉语意译	道理在其中
	日本語訳	ここまで述べてきたことの中には道理がある。

第4首は女側の歌で、第2・4・8句に漢語句をもつ。それら3句は修辞や内容面で他の句とこれといった違いが見つけられず、漢語句になる理由はわからない。ただ、なぜ漢語句かわからない、というのがこの首の漢語句の特徴と言えようか。つまり他の白語句との違いが出にくいということがその特徴の一つと言える。

#### 【用例C】漢語句をもつ首

		5) 男側
1	IPA	sa <sup>~55</sup> ta <sup>~55</sup> zə <sup>42</sup> lɛ <sup>42</sup> kho <sup>44</sup> ji <sup>55</sup> tɕi <sup>~55</sup>
	汉语直译	上大人来经验也多
	汉语意译	长辈人的经验丰富
	日本語訳	年上の人の経験は豊富だ。
2	IPA	tshv <sup>35</sup> mə <sup>42</sup> pu <sup>35</sup> pi <sup>31</sup> tsɛ <sup>55</sup> tɕia <sup>33</sup> li <sup>31</sup> (汉语句)
	汉语直译	出门不比在家里
	汉语意译	出门不比在家里
	日本語訳	外出よりは、一人きりで家にいる方がまだましだ。
3	IPA	tshv <sup>35</sup> mə <sup>42</sup> pu <sup>35</sup> pi <sup>31</sup> cui <sup>55</sup> tɕia <sup>33</sup> si <sup>55</sup> (汉语句)
	汉语直译	出门不比叙家事
	汉语意译	出门不比叙家常
	日本語訳	外出よりは、家庭生活について雑談する方がましだ。
4	IPA	ni <sup>55</sup> kə <sup>21</sup> phia <sup>44</sup> ma <sup>44</sup> ji <sup>~44</sup>
	汉语直译	可怜到哪日
	汉语意译	可怜到哪天
	日本語訳	いつまで可哀想な日が続くのか。
5	IPA	lo <sup>31</sup> fɤ <sup>55</sup> lo <sup>31</sup> mu <sup>31</sup> tiu <sup>33</sup> tsui <sup>55</sup> xou <sup>55</sup> (汉语句)
	汉语直译	老父老母丢最后
	汉语意译	老父老母丢身后
	日本語訳	年老いた両親のことは後回しになってしまう。

6	IPA	xo <sup>31</sup> jv <sup>~33</sup> xo <sup>31</sup> thi <sup>33</sup> tsɛ <sup>55</sup> na <sup>31</sup> li <sup>31</sup> (汉语句)
	汉语直译	好女好弟在哪里
	汉语意译	兄弟姐妹在哪里
	日本語訳	兄弟姉妹はどこにいる。
7	IPA	tsi <sup>55</sup> tiɛ <sup>35</sup> to <sup>31</sup> no <sup>33</sup> tsi <sup>55</sup> pha <sup>42</sup> tɕhi <sup>31</sup> (汉语句)
	汉语直译	自跌到乃自爬起
	汉语意译	哪里跌到哪里起
	日本語訳	転んだ所で立ち上がる。
8	IPA	si <sup>33</sup> to <sup>31</sup> ke <sup>55</sup> ja <sup>~55</sup> sə <sup>33</sup>
	汉语直译	让谁牵咱手
	汉语意译	无人牵咱手
	日本語訳	私の手を取ってくれる人はいない。
	語釈	4. 程の言うには第4句は結婚したことに対する後悔か。

第5首は男側の歌で、第2・3・5・6・7句が漢語句であり、他の首に比べて漢語句の割合が多い。第2・3句は「外出よりは、一人きりで家にいる方がまだましだ」「外出よりは、家庭生活について雑談する方がましだ」というように類似表現を繰り返している。

第5・6句は内容に共通性がある。「年老いた両親のことは後回しになってしまう」「兄弟姉妹はどこにいる」とあるように、嫁の家族について歌い込み、どちらもその両親兄弟姉妹とつながりをもてないことの嘆きや悲哀といったものをこの2句はあらわしている。

第7句は「転んだ所で立ち上がる」と誰の助けもない、独力で何とかするほかない、という嫁の立場の悲哀があらわされる。しかしながら、なぜ漢語句になるのか、その理由といったものは第7句からは読み取れない。

#### 【用例D】漢語句をもつ首

		18) 女側
1	IPA	tɕhi <sup>~55</sup> ji <sup>~21</sup> tɕhi <sup>~55</sup> ke <sup>~55</sup> tɕhi <sup>~55</sup> ɕia <sup>44</sup> ɕia <sup>44</sup>
	汉语直译	千人千家千很很
	汉语意译	天下之人数不清



	日本語訳	この世の人の数は数えきれない。
2	IPA	fə <sup>~33</sup> tshui <sup>33</sup> su <sup>55</sup> jo <sup>42</sup> kui <sup>55</sup> xua <sup>33</sup> cia <sup>~33</sup> (汉语句)
	汉语直译	风 吹 树 摇 桂 花 香
	汉语意译	风吹树摇桂花香
	日本語訳	風が吹き、樹が揺れ、金木犀が香る。
3	IPA	xe <sup>~55</sup> je <sup>33</sup> tsi <sup>33</sup> li <sup>55</sup> ta <sup>42</sup> tciā <sup>55</sup> cia <sup>~55</sup>
	汉语直译	燕 子 儿 也 回 家 乡
	汉语意译	燕虽飞远依旧回
	日本語訳	ツバメは遠くまで飛んでいくものの、いずれ戻る。
4	IPA	si <sup>33</sup> ŋa <sup>55</sup> pu <sup>35</sup> kui <sup>33</sup> tciā <sup>33</sup> (汉语句)
	汉语直译	让 我 们 不 归 家
	汉语意译	我却难回乡
	日本語訳	私はふるさとに帰ることが難しい。
5	IPA	tci <sup>33</sup> tciō <sup>55</sup> pa <sup>55</sup> sua <sup>44</sup> mu <sup>35</sup> tsou <sup>31</sup> lu <sup>55</sup>
	汉语直译	鸡 叫 他 们 说 别 走 路
	汉语意译	听说鸡鸣不上路
	日本語訳	ニワトリが鳴くと出発しない。
6	IPA	thiē <sup>33</sup> nia <sup>~55</sup> ji <sup>31</sup> si <sup>42</sup> jou <sup>55</sup> tō <sup>55</sup> tsia <sup>33</sup> (汉语句)
	汉语直译	天 亮 已 时 又 到 家
	汉语意译	天亮已时已到家
	日本語訳	空が明るくなる巳の刻にうちに到着する。
7	IPA	tshui <sup>33</sup> fə <sup>~33</sup> si <sup>55</sup> tci <sup>55</sup> tshui <sup>33</sup> li <sup>31</sup> xua <sup>33</sup> (汉语句)
	汉语直译	春 风 四 季 春 里 花
	汉语意译	春风四季春里花 (跟汉语直译一样)
	日本語訳	春の風、スルガ蘭。
8	IPA	si <sup>55</sup> se <sup>44</sup> ja <sup>44</sup> khv <sup>31</sup> kha <sup>44</sup>
	汉语直译	收 拾 回 家 差 不 多
	汉语意译	收拾一下快到家了
	日本語訳	少し片付けているうちにもうすぐ家に着く。(片付けはほどほどで、とっとと家に帰ろう。)
	語釈	4. 「pu <sup>35</sup> kui <sup>33</sup> tciā <sup>33</sup> 」が漢語。一句全てが漢語ではない。

第4句「si<sup>33</sup> ŋa<sup>55</sup> pu<sup>35</sup> kui<sup>33</sup> tciā<sup>33</sup>」は冒頭「si<sup>33</sup>

ŋa<sup>55</sup>」は白語にあたり、その後ろ「pu<sup>35</sup> kui<sup>33</sup> tciā<sup>33</sup>」が漢語である。漢語にあたる部は漢語直訳すれば「不归家」、つまり動詞+目的語の否定であり名詞ではない。第4句が面白いのの一句がまるごと漢語ではなく白語と漢語とで構成されていることである。

その他第2・6・7句は一句全てが漢語の漢語句である。第6句は「空が明るくなる巳の刻にうちに到着する」という時をあらわす数詞を含む。また第2・7句は「風が吹き、樹が揺れ、金木犀が香る」「春の風、スルガ蘭」のように季節と自然、特に植物名をあらわす。

一首全てが漢語で歌われるわけではなく、基本は白語でありながら、そこに漢語表現が一部用いられているという印象がある。だが第18首は他の一首と比べれば漢語表現の多い首となっている。

#### 【用例 E】仏教関連の漢語単語をもつ首

		8) 女側
1	IPA	ka <sup>~55</sup> se <sup>~55</sup> tci <sup>~55</sup> no <sup>33</sup> ŋv <sup>44</sup> tciō <sup>~42</sup> ji <sup>~21</sup>
	汉语直译	高 山 顶 上 木 匠 人
	汉语意译	高山顶上有木匠
	日本語訳	高い山の頂上に大工がいる。
2	IPA	le <sup>31</sup> jo <sup>~44</sup> li <sup>55</sup> tsi <sup>55</sup> le <sup>31</sup> jo <sup>~44</sup> tse <sup>42</sup>
	汉语直译	又 要 砍 则 又 要 截
	汉语意译	又要砍树又要做木料
	日本語訳	木を切ったり、木材を作ったりする。
3	IPA	ja <sup>~55</sup> tshv <sup>31</sup> pə <sup>55</sup> no <sup>33</sup> sa <sup>~33</sup> tha <sup>35</sup> si <sup>55</sup>
	汉语直译	我 们 建 它 上 三 塔 寺
	汉语意译	我们要建三塔寺 (大理名寺, 又名崇圣寺)
	日本語訳	私たちは三塔寺を建てたい。
4	IPA	ja <sup>~55</sup> su <sup>44</sup> pə <sup>55</sup> no <sup>33</sup> ve <sup>42</sup>
	汉语直译	我 们 塑 它 上 佛 像
	汉语意译	还要塑佛像
	日本語訳	仏像も造りたい。
5	IPA	ve <sup>42</sup> pə <sup>55</sup> ciō <sup>~55</sup> xui <sup>33</sup> tsv <sup>~33</sup> le <sup>44</sup> ji <sup>~44</sup>
	汉语直译	佛 像 之 香 火 重 的 烧

	汉语意译	佛的香火旺又旺
	日本語訳	ここの仏は（人々に）とても人気がある。
6	IPA	xɑ <sup>31</sup> tv <sup>~55</sup> ɕio <sup>~55</sup> xui <sup>33</sup> ja <sup>35</sup> si <sup>44</sup> tsui <sup>44</sup>
	汉语直译	家 里 香 火 不 间 断
	汉语意译	家里的香火不能断
	日本語訳	家の中の線香は消してはいけない。
7	IPA	nə <sup>31</sup> se <sup>~42</sup> ɕi <sup>33</sup> tsv <sup>~55</sup> ɣə <sup>33</sup> se <sup>~42</sup> xə <sup>31</sup>
	汉语直译	这 世 积 德 后 世 里
	汉语意译	今生积德来世报
	日本語訳	現世に徳を積み来世のためとする。
8	IPA	ɣə <sup>33</sup> se <sup>~42</sup> ja <sup>~55</sup> pi <sup>~42</sup> ve <sup>42</sup>
	汉语直译	后 世 我 们 变 佛
	汉语意译	来生咱成佛
	日本語訳	来世は我々は仏になる。
	語釈	3. 段の注に「三塔寺は大理の有名な寺で、またの名を崇聖寺という」とある。（三塔寺；大理名寺，又名崇聖寺）
	語釈	5. 程の言うには「香火旺」は「その寺は人気がある」の意。

第8首は女側の歌で、漢語句をもたない一首であるが、特殊な単語が用いられているので取り上げたい。

語釈で取り上げたが、第3句の「三塔寺」([sa<sup>~33</sup> tha<sup>35</sup> si<sup>55</sup>])である。筆者は2018年8月に歌い手の一人である熊四金に歌中の三塔寺について問うた。彼の言うには彼自身はその存在を知識として知るものの、現地へ行ったことはないとのことであった。また歌表現としては、大理にある三塔寺と同じものを建立したいというよりは、そのような価値ある貴重なものを建立したい、というのが、ここでの歌意である、との彼の説明であった。実際、龍潭では私の聞き書き対象者たち、歌い手らも含むが、彼らの信仰は仏教ではない。自然崇拜である。それは蘭坪の他の普米族らと同じで、例えば圉垭裏の「三脚」と呼ばれるごとくや圉垭裏に酒や松の葉を捧げ、母屋の圉垭裏のある部屋の壁上には神棚のようなものが設けられ、供え物が置かれている。故に理由はさておき、そのような

彼らの信仰の中で歌表現として「三塔寺」があらわれてくることにまずは注意したい。

また第8首は内容は仏教関連であるが、例えば「仏像も造りたい」「ここの仏は（人々に）とても人気がある」「家の中の線香は消してはいけない」「現世に徳を積み来世のためとする」「来世は我々は仏になる」であるが、それ故そこに漢語表現があらわれると思ってしまったが、そんなことはない。ちなみに白族における仏教受容の歴史はここでは触れないが、白族の碑文を見てもその歴史の長さはわかる。白族の仏教は当然漢族との接触を通して受容したものであるが、本稿で取りあげた歌表現上では仏教に関連する内容において漢語のあらわれはほとんどない。

さらに付け加えると、先述したがこの歌表現を歌う龍潭普米族集団は仏教を信仰せずにこれらを歌うのである。そこに龍潭における西番調の特徴があらわれているのではないか。それについてはこれからさらなる現地での聞き書きが必要になる。本稿では問題提起に留めたいと思う。

以上のことから、龍潭の西番調の特徴として、一つには、歌詞は剣川方言の白語を用いて歌うということがあり、それだけでなく歌詞の中に時折蘭坪普米族の話す白語なまりの漢語も含まれることがわかった。もう一つには様式は白族歌謡の大きな特徴の一つである山花体という音数律であり、そしてそのような歌を掛け合うという特徴が挙げられる。

## 6. 歌謡に見られる南北の地域差

龍潭普米族の場合、日常言語も歌掛けの際の歌ことばも白語であるが、龍潭以外の地域の普米族はどうかのだろうか。筆者は蘭坪北部の箐花や籬古箐で歌の採集を行ったが、彼らは白語で歌うことはなく、また、日常言語は白語ではなく蘭坪の普米語で、歌う歌も普米語を用いており、特に「哩哩」と呼ばれる古歌が代表的である。哩哩は内容は民族の起源などを歌うものがあり、結婚式や祖先祭祀で歌われる。

以下、一例として箐花で採集したものを紹介し

たい。なお、資料作成過程において彼らの言語をIPAで表記できる人物をまだ探し出せていないため、歌詞は漢語訳の段階にとどまっている。ご了承願いたい。

歌詞資料

兄妹創成神話歌「<sup>ムホリリ</sup>母婚哩哩」〔漢語訳：创世古歌文兄妹調“母婚哩哩”〕

【語注】母：兄の意。婚：妹の意。

採集日時：2015年3月25日

【資料の作成過程】

普米語から漢語へ翻訳：和求順（蘭坪普米族）、和国芳（蘭坪普米族）、和九貴（蘭坪普米族）、郭建忠（寧浪普米族）

漢語から日本語へ翻訳：<sup>こうきょうかつ</sup>高暁劼

日本語最終調整：飯島奨

【歌い手】

・和求順：男。干支：寅，66歳，蘭坪県河西鄉箐花村小麦介場に住む。

・和国芳：男。干支・年齢：未確認。蘭坪県河西鄉箐花村に住む。普米語の名はアジンヅリ（阿金次里）。

第1首 歌い手：和求順

	普米語からの漢語訳	日本語訳
1	长江黄河流出的源头就有我们普米族的歌声。	長江・黄河の流れ出るみなもとに私たち普米族の歌声がある。
2	母亲河孕育了普米人，	“母親河”が我が普米人をはぐくんだ。
3	大山养育了我们普米兄妹。	大山が私たち（※訳せない）を養った。
4	长江黄河流不断兄妹之情。	長江・黄河がどう流れても私たちのつながりを断ち切れない。

【語注】

2. 母亲河：普米族の母なる河。

3・4. 兄妹：①昔から今に至る全ての普米族人，②兄妹の意，どちらの意か未確認。

第2首 歌い手：和国芳

	普米語からの漢語訳	日本語訳
1	开天辟地以后就有了普米人。	天地開闢の時から普米人は生きている。
2	烧着□□着一起度日的兄妹是我们，	私たち一族が□□を焼いて一緒に月日を過ごす。
3	麻布衣裳换着穿的兄妹是我们，	私たちはどんなに貧しい時も互いに助け合う。
4	玩着泥巴长大的是我们。	私たち一族は泥で遊ぶで大きくなる。
5	繁衍发旺的老基是这里，	ここは繁栄盛んな祖先の村だ。
6	兄妹繁居的地方是这里。	ここは普米族の一族が繁栄して住んでいるところだ。

【語注】

2. □□：メモの判読できず。

3・6. 兄妹：第1首第3・4句と同じ。どちらの意かはっきりわからないから本当のところは訳せないがさしあたりの訳を用いた。

3. 直訳は「（貧しくて）私たち一族は麻布の服を交換して着る」。

上記の哩哩について、歌い手の一人である和求順に聞き書きをしたところ、この哩哩は特に歌う場や目的が限定されておらず、結婚、葬儀、日常生活、どこでも歌うという。また、自分らの歴史的な起源は甘肅省からやってきたと話してくれ、故に、葬儀のときにその地へと何かを送るという。何を送るかは、その時上手く確認が取れなかった。彼は祭祀者のような存在ではなく、普段は農業に携わり、それは昔から今までずっと変わらないという。栽培物は大麦、小麦、とうもろこし、じゃがいも、山椒などと教えてくれた。

ところで、筆者は蘭坪での調査の際に、常に蘭坪普米族ではない、四川省に近い永寧地域の普米族と一緒に活動し、彼らに聞き書きを手伝ってもらっていた。彼らが一応にして言うには、蘭坪北部の箐花や鑼古箐の普米語はよくわかるそうで、例えば、鑼古箐での調査では、三割近くの言語が聞き取れ、鑼古箐にひと月もいれば彼らの言語は全てわかるようになると話してくれた。逆に、龍潭普米族の言語はよくわからないといい、そして龍



潭の人たちは白語を話しているとも言っていた<sup>5)</sup>。

龍潭では哩哩を歌うことはなく、反対に、箏花や鑼古箏では西番調のような歌掛け文化はない。日常言語も両者は大きくことなることから、どうやら蘭坪普米族は、日常言語と歌文化において南北の地域差がはっきりしているということがわかる。

## 7. おわりに

龍潭普米族の掛け合い歌とは何だろうか。日常言語が白語である彼らにとって、歌ことばが白語であるということは特に意識されるものではない。そもそも歌の掛け合いの目的は白族との交流ではなく、また北部の普米族集団との交流でもなく、龍潭という限られた地域の中で、結婚式において歌うことである。つまり、彼らの掛け合い歌は閉鎖的な性格と言える。ただ、まれに白族で西番調を歌える者がいた場合、歌の掛け合いを通して結婚に至ることもある。筆者の聞き書きした中でそのような事例はわずかに一例であったが、以下に紹介すると、白族と龍潭普米族の若者同士の結婚は当初は龍潭普米族の妻側の両親親族らから反対され、二人は駆け落ちするのだが、のちに二人は両親親族に認められ、現在は孫守りをしながら穏やかに龍潭で暮らしている<sup>6)</sup>。従って、龍潭普米族の掛け合い歌は一見閉鎖的ではあるが実は開かれていて、異なる民族同士を結び付けてしまうこともあると言えよう。

ただその開かれ方が、居住地域を異にする同族民族に対してではなく、隣接する多数派の異民族に開かれている、ということが興味深い。岡部隆志は雲南省の大理地域一帯で確認した、白族と漢族とが漢語を用いて歌掛けをする事例について調査・報告をしている。その掛け合い歌は「漢調」<sup>でんこう</sup>とか「田埂調」<sup>でんこう</sup>とか呼ばれており、岡部はそれらの歌掛けのはたらきの考察の中で次のように述べている。「掛け合い歌が、生活の現在性そのものに依拠したものであるということが重要であろう。恋人や伴侶を探すために歌うという、生活の繰り返しのなかの現在性そのものの中に、異なっ

た文化や民族性の区別は埋没するということ<sup>7)</sup>」と述べているが、龍潭普米族の西番調についても同じことが言えるだろう。

ところで、龍潭の結婚式での掛け合い歌は今も行われていない故、この掛け合い歌の歴史的背景はかなり把握しにくくなり、また、今後存続するか否かはわからなくなってしまった。けれども、多数派民族に隣接して生きていく少数派少数民族が自分らの存在意義を言語によって保っているのではなく、儀礼において歌を掛け合うという行為によって保っている、ということが今回わかるのである。

### 注釈

- 1) 拙稿「悲嘆する嫁の歌——雲南省蘭坪県龍潭村普米族の結婚式に関わる歌「可憐調・苦情調」についての中間報告——」『アジア民族文化研究』17号、アジア民族文化学会、2018年3月。
- 2) 「西番」については、以下の資料を参考とした。①松岡正子「川西南の「西番」における民族識別(1)——プミ語集団の場合」『愛知大学国際問題研究所紀要』126号、2005年10月。②同「川西南の西番における民族識別(2)——西番族の歴史の記憶」『愛知大学国際問題研究所紀要』127号、2006年3月。③同「四川ルズ・チベット族の婚姻慣習——「西番」社会の紐帯」『愛知大学国際問題研究所紀要』129号、2007年3月。
- 3) 拙稿、注1)に同じ。
- 4) 比如「話」、大理带白語口音一般发松喉55调、普米族口音发为紧喉的55调等。
- 5) ・2016年9月4日の手帳より：(三度目に龍潭村を訪ねた時、研究協力者の寧蒗県永寧郷出身普米族の熊斌が筆者に語っているには)「彼女(※熊七妹をさす。龍村出身)がしゃべっているのは白族のことば。オレはわからない。」小熊(※熊斌をさす。龍潭村出身)がこそと話す。  
・2016年9月6日の手帳より：小熊の言うには(龍潭村での掛け合いでは)歌っている時は白語で歌い、「調」(メロディーのようなものや形式)は普米族のだ。(彼らは)会話の時も白語で話しているから、(寧蒗県永寧郷出身の自分には)さっぱり聞き取れない。(それに対して、鑼古箏は)歌っている歌詞は普米語で、口頭の会話も普米語だ。一ヶ月(自分が)そこにいれば、全て(彼らのことばが)わかるようになる。(現時点では)三割は(彼らの言語が)わかる。
- 6) その夫への結婚にまつわる聞き書き資料が拙稿にある。注1)に同じ、を参照されたい。
- 7) 岡部隆志「異文化をつなぐ歌掛け——雲南省鶴慶の漢調「田埂調」について——」『アジア「歌垣」論』所収、三弥生書店、2018年5月。